

# 『税金の大切さ、ありがたさ』

足立区立洲江中学校 三年四組

平井 翌汰

税金にはたくさん使い道があり、社会資本整備や公共サービスの費用などがあります。その中でも最も多く使われるのは社会保障です。社会保障とは、私たちが安心して生活していくうえで必要不可欠な公的サービスのことです。具体的には、病院で手当てをしてもらったときにかかった金額の一部に税金が使われることなどがあります。

私の妹は知的障害とチャージ症候群という難病を患っています。妹は気管切開をしていて、定期的に吸引をしなければいけません。妹には生きるためにたくさん機械が必要であり、それらがないと妹は生きていくことができません。しかしそんな機械はやはり一つひとつがとても高価です。あまり裕福とは言えないうちがどのようにしてそれらの機械の支払いをしているのかと疑問に思い、母にたずねると税金がもとになってくれると教えてくれました。また妹はたくさん薬を服用しているため、医療費もたくさんかかってしまいます。しかし妹のような重度の障がい者には「重度心身障がい者医療費助成制度」があり、十九歳以降でも医療費が助成されるそうです。この制度のおかげで、医療費の負担が大幅に減り、とても助かっていると母は感謝していました。それだけでなく妹は、保育園のころから療育施設を利用しています。現在は養護学校に通いながら放課後は、子ども発達支援センターを利用させてもらっています。このような福祉施設にも税金が使

われています。この施設を利用することで妹は毎日の生活を安心して安全な場所で過ごすことができます。これからも妹の成長と共に色々な福祉施設にお世話になることと思います。

このようなことを知り私は、税金の大切さやありがたさをとても強く感じました。全ての人々の生活や未来のため、私達が安心して暮らしていただけるためにも、これからも税金がみんなのために大切に使用されることを心から願っています。それと共に妹を安心して楽しく暮らせるようにしてくれた税金というものには感謝の気持ちでいっぱいです。

これからの未来は少子高齢化などの社会問題で、若い納税者が減っていき、国の税金収入が減ると予測されています。だから私は、これから成人して、自分でお金を稼ぐようになったら、今妹が救われているように、しっかりと「納税」という形で私も一人でも多くの誰かを助け、社会に貢献できる一員になりたいです。また自分が受けられる公的サービスを適切に利用していこうと思います。そうして、私達の生活をより豊かにしてくれる、正しい税の使い方をしていく社会を作ることで、幸せな未来はきっとやってくると思います。